

# アジア陸域の指標生態系における温暖化の長期モニタリング

研究費総額: 57,500千円 研究期間: 5ヵ年(平成25-29年)



## 研究体制

- サブテーマ1: 生態系の温暖化影響の長期観測と評価手法の開発
- 実施機関: 国立環境研究所
- 役割: 生態系応答の観測
- サブテーマ2: 生態系物理環境の長期観測と気候変化の評価
- 実施機関: 農業環境技術研究所
- 役割: 気候環境のモニタリング

## 5ヶ年の研究期間の最終目標

- アジアの多様な陸域生態系における指標生態系の温暖化影響の観測拠点を強化し、長期観測体制を構築する;【内容】
- 温暖化影響の早期検出を目指し、指標生態系における統合的な観測を行い、季節相と植物種多様性を重視した温暖化影響の評価手法を開発する;【内容】
- アジア陸域全体の温暖化影響を把握するため、従来観測の乏しい草原、高山帯と熱帯林生態系に関する温暖化情報を蓄積し、データの空白を埋める;【新しい特色】
- GEOSSに生態系の管理と環境保全、生物多様性の保護に関するデータを提供する。【貢献】